

令和6年度 事後評価シート

施策	19インバウンド誘客による国外からの活力の取り込み
K G I	①外国人延べ宿泊者数 【基準値】216千人（令和元年）【目標値】360千人 ②外国人旅行消費単価 【基準値】41千円（令和元年）【目標値】47千円

【細施策シート】

策シート】

						担当部局		観光スポーツ文化部				
細 施 策		19_01	海外との往来を支える基盤整備				施策KGI		①・②			
K G I		国際線の便数（維持・拡大）										
		KGI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	7 便		目標値	26 便		目標値	27 便	
		基準値	5 便	実績値	12 便		実績値	20 便		実績値	便	
				達成率	171.43 %		達成率	76.9 %		達成率	%	
ストック/フロー	フロー	成果進捗 評価	順調		成果進捗 評価	不調		成果進捗 評価	成果進捗 評価			
6 年 度	要因分析 【必須】	旺盛な訪日需要を背景に、イン・アウト双方でプロモーション等の利用促進施策を積極的に展開した結果、平均80%を超えるなど好調な搭乗率が続いた。この機を逃さず、海外航空会社へのエアポートセールスを積極的に展開した結果、令和6年10月末から、ソウル線は週14便、釜山線は週6便、台北線は週3便へ増便。過去最多となる週23便の運航体制が実現した。しかしながら、令和7年3月末からの夏ダイヤ期間において、釜山線が機材繰りの問題により週3便へ減便となったため、令和6年度末の運航便数は週20便となったもの。										
	見直し方向性 【必須】	令和6年度のKGIの実績は想定をやや下回る結果であったが、7年度以降もKGI目標の達成に向け、同様の施策を継続することから、施策の見直しは想定していない。										